

令和5年度第2回一関市立舞川中学校運営支援協議会 会議録

- 1 会議名 令和5年度第2回学校運営支援協議会
- 2 開催日時 令和5年8月24日(木) 午前10時から午前11時30分まで
- 3 開催場所 一関市立舞川中学校 会議室
- 4 出席者
 - (1) 委員 小野寺千秋委員(会長)、野原勝博委員(副会長:本校校長)、佐藤勝一委員、伊師みゆき委員、及川宇雄委員、吉家美香委員
※欠席者 千葉隆委員(副会長)、齋藤正則委員、佐藤浩一委員、佐藤千代委員
 - (2) 事務局 岸田真一副校長、浅野始央教務主任、盛田敬久生徒指導主事(委員兼務)

5 野原勝博舞川中学校校長挨拶

今年の5月には、地域や家庭と連携し「530(ゴミゼロ)運動」に取り組んだ。6月には、前年度協議会での意見を参考に、新たな講師の確保と講座の改編を行った上で地域体験学習を実施した。

行事については、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながらではあるが、コロナ禍前の来賓招待を予定している。

現在は、熱中症対策などを念頭に置き、生徒の健康安全を優先した教育活動を推進している。

6 議題

- (1) 令和5年度第1学期学校評価アンケートについて(生徒・保護者・教職員)
- (2) 生徒の様子について

7 公開、非公開の別 議事内容(1)と(2)の途中まで公開、その後は非公開

8 傍聴人 0人

9 議事内容

- (1) 令和5年度第1学期学校評価アンケートについて

資料に基づき事務局から説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 おはごあ言葉の実践は約50年続いているが、時代に合った新しい取組内容に変えていく必要性を感じている。

委員 舞マナー(情報機器使用の校内指針)取組など、情報モラル教育についての方向性はいかがか。

事務局 生徒の意識化へ向けて、舞マナー内容の精選が必要と考えている。

校長 医療関係者などの協力をもとに、脳科学の観点から健康面への影

響を確認できるような講演会を設定していく。

(2) 生徒の様子について

授業参観後、委員から意見等を求めた。以下、意見等。

委員 生徒は登下校時しっかりと挨拶を行っている。

委員 エアコンなどの使用により、学習環境が適切に保たれている。

委員 地域体験学習における講師選定について、魚釣りなど河川での体験に携わっている方を知っているので、講師として必要な場合は声をかけていただきたい。

委員 職員退職に伴う後補充がスムーズに行われており、生徒に混乱が生じないような迅速な対応が行われている。

10 担 当 一関市立舞川中学校